

(毎月二日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報第百八十五號 明治卅六年三月十八日和歌山縣

公文

○和歌山縣告示第九十四號
左記狩獵狀失ノ旨届出タリ

明治三十六年三月十四日

和歌山縣知事 椿 壽一郎
和歌山縣日高郡上山路村大字東
壹千貳百拾五番地平民農

明治三十六年一月二十一日付與
第一二八五號乙種三等狩獵狀

右ハ明治三十六年三月三日縣下日高郡上山路村大字宮代字立花川山林ハ出獵中遺失シタリ
○和歌山縣告示第九十五號

縣下日高郡御坊町大字南龍田平兵衛飼牝牛一頭本月十一日炭疽ニ罹リ斃死セリ
明治三十六年三月十六日 和歌山縣知事 椿 壽一郎

○和歌山縣告示第九十六號
當縣西牟婁郡田邊町役場位置ノ大字上屋敷町ヨリ大字本町ニ變更ス

明治三十六年三月十七日 和歌山縣知事 椿 壽一郎

縣報第百八十五號 明治三十六年三月十八日 第三種郵便物認可

觀測

明治三十六年三月十三日ヨリ三日間當地氣候狀況

種類	三月十三日		三月十四日		三月十五日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五七耗二	七六四耗〇	七五七耗四	七六四耗二	七六〇耗五	七五七耗五
平均氣温	一〇度五	一五度一	一〇度〇	一三度八	九度八	一四度五
最高氣温	一五度八	二〇度二	一四度七	一八度五	一四度八	一九度五
最低氣温	八度二	一二度二	六度〇	九度〇	五度五	九度六
最多風向	北々西	南	北々西	北	北東	前南後北
平均風力	四米八	四米八	一米八	三米〇	二米九	五米四

下田才

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十四日發行)

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

縣報 第八十六號

明治卅六年三月廿一日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第二十六號

炭疽疫生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年三月十八日

和歌山縣知事 椿 基一郎

一 那賀郡山崎村大字畑毛

東 赤井房太郎宅地東手小溝限

西 赤井由太郎赤井翁太郎宅地限

南 赤井房太郎宅地前小溝限

北 藤井岩楠宅地限



一

縣報第八十六號

明治三十六年三月廿一日

第三種郵便物認可

一

○和歌山縣令第二十七號

明治三十三年縣令第五十二號ヲ左ノ邊リ改正ス

明治三十六年三月十八日

和歌山縣知事 轉 爲 一 郎

渡航ニ關スル規則

第一條 法令ノ規定ニ依リ外國ニ渡航セントスル者ハ其目的ニ從ヒ第一號第十二號様式ニ依リ願書ニ左ノ事項ヲ添ヘ所轄警察官署ヲ經由シ管屬ニ差出スヘシ

一 戶籍ノ原本

二 兵役ニ關スル證明書

三 保證人ヲ立ツル場合ニ於テハ保證人ノ納稅額ニ關スル市町村長ノ證明書

四 在外者ノ呼寄ニヨリ渡航セントスル者ハ其在留者ノ職業及在留證明書並ニ呼寄書(封筒トモ)

五 商業又ハ學術技術ノ研究ノ爲メ渡航セントスル者ハ其履歷書並本人又ハ出資者ノ地租所得稅及營業其ノ他ノ納稅額ニ關スル市町村長又ハ領事ノ證明書

六 願人寄留者ナルトキハ其寄留地ノ市町村長ノ寄留證明書

第二條 家族又ハ未成年者ノ願書ニハ其戶主又ハ後見人ノ連署ヲ要ス

第三條 移民保護法第十三條ニ依リ移民取扱人ニ於テ移民ト書留契約ヲナストキハ本紙ニ通ノ外寓一額ヲ添付シテ認可ヲ申請スヘシ

第四條 移民取扱人ニ依リ州願者ハ其願書ニ認可ヲ受ケタル契約書ノ寫一通ヲ添付スヘシ

縣報第百八十六號

明治三十六年三月廿一日

第三種郵便物認可

二

第五條 移民保護法第三條ニ依リ外務大臣指定ノ地ニ渡航スル移民ノ保證人ハ二人トス

前項ノ保證人ハ願人ト同一郡市内ニ居住シ且地租拾五圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅ヲ納

ムルモノナルコトヲ要ス

地租五拾圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅拾五圓以上ヲ納ムル者ハ二人マテノ保證人トナルコトヲ得

第六條 商業又ハ學術技術研究ノ爲メ外國ニ渡航セントスル者ハ一人ノ保證人ヲ要ス但シ濟韓兩國並露領西比利亞東部地方及薩哈連曠ニ渡航スル者ハ保證人ヲ要セス又時宜ニヨリ本文ノ場合ニ於テモ保證人ヲ免スルコトアルヘシ

前項ノ保證人ハ願人ト同一郡市内ニ居住シ且地租拾圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅ヲ納ムル者ナルコトヲ要ス

地租貳拾五圓以上又ハ土地ヲ有シ所得稅拾圓以上ヲ納ムル者ハ二人マテノ保證人トナルコトヲ得

第七條 左ノ事項ニ該當スル者ハ保證人トナルコトヲ得ス

一 妻、未成年者、禁治產者及準禁治產者

二 公權剝奪者トハ停止中ノ者

三 破産又ハ家賃分數ノ宣言ヲ受ケ復權ヲ得タル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘタル者

第八條 保證書ハ第三號様式ニ依リ願書ニ添付スヘシ

現ニ保證人タルモノ更ラコ他ノ保證ヲナストキハ前ニ保證シタル渡航者ハ族籍氏名及保證年月日ヲ保證書ノ末尾ニ附記スヘシ

同時ニ二人ノ保證ヲナストキハ雙方ノ保證書ニ前項ノ附記ヲナスヘシ

第九條 婦女子コレヲ父母若クハ夫又ハ子弟ニ從ヒ或ハ在外夫等ノ呼寄ニ依リ渡航セントスル者ハ各官員(父母夫婦等同)ヲ携帶スヘシ

第十條 旅券及渡航許可証ハ當廳ヨリ警察官署ヲ經テ本人ニ下附ス但シ本人又ハ移民取扱人(委任狀ヲ要ス)ニ於テ直ニ之ヲ受ケントスルトキハ豫メ其旨ヲ副願スヘシ

旅券ノ下附ハ第四號様式ニ依リタル領收書ト引換ニナスコトヲ要ス

第十一條 移民保護法施行細則第二十三條ニ依リ移民取扱人ヨリ渡航者名簿歸國者名簿又ハ死亡者名簿ヲ當廳ニ届出ツルトキハ正副二通差出スヘシ

第一號書式

外國旅券下附願

私儀今般某國ニ渡航又ハ往復致度候ニ付左ニ目的及從來ノ經歷等具申候條外國旅券御下附相成度保證人ノ保證書相添へ連署此段奉願候也

一 目的 何々

何國何地何學校ニ入り何學ヲ修メントス何國何地ニ赴キ何品ヲ販賣ス(別ニ方法ヲ定メタルモノハ其方法ヲモ記入スヘシ)又ハ何々

二 在留年限 何ケ年

何ケ年間ハ何地ニ何ケ年ハ何ケ國ヲ旅行ス

三 從來ノ經歷 商業又ハ學術技術研究ノ爲メ渡航スルモノニ限ル

第一項ノ目的ニ關係アル經歷ハ詳記スヘシ

四 資金及費用 總額幾圓

資金及費用ハ自己ノ所有金又ハ何縣何郡何町村大字何々某ノ出資或ハ借入ニシテ内何圓ハ資金トシ幾圓ヲ費用トス(修學者ニアリテハ學資金トシテ渡航後一ケ月(一ケ年)毎ニ何某ヨリ幾圓ヲ送金スル旨ヲ記スヘシ)

本邦何港ヨリ何國何地マテ旅費トシテ幾圓滞在費トシテ幾圓非常豫備費トシテ幾圓ヲ充ツ本項金額ハ自己ノ所有又ハ何某ヨリノ借入金トス

五 徵兵關係 何々

國民兵、豫備役、後備役、編入等(檢査不合格又ハ抽籤ニテ免除若クハ猶豫セラレタ)

六 犯罪並ニ破産 何々

前科ノ有無若アルトキハ其ノ事ノ詳細
破産若ハ家産分數ノ宣告ヲ受ケ又ハ身限リノ處ヲ受ケタルコトノ有無

年 月 日

原籍住所身分職業

本人 氏 名印

(本人氏名ノ右側ニ傍欄ヲ附スヘシ)

生 年 月 日
満 年 月 日

原籍住所身分職業

保証人又ハ政府ニ對シ
保護ノ義務ニ任スル

氏 名印

會社若ハ個人印

本 縣 知 事 宛

第二號書式

(勞働ヲ目的トスルモノニ限リ旅券下附願書ニ本願書ヲ添付スヘシ)

外國渡航許可願

私儀何々ノ目的ヲ以テ某國へ渡航ノ爲メ外國旅券下附願書出候ニ付渡航御許可相成度候也

年 月 日

原籍住所身分職業

本人 氏 名印

戸主又ハ家族引受人 氏 名印

本 縣 知 事 宛

第三號書式

保 証 書

一 地 租

一 所得 稅

今般某何々ノ爲メ何國何地へ渡航ニ付拙者前記ノ財產ヲ目的トシ保証人ニ相成申候就テハ本人高一疾病其他困難ノ場合ニ於テハ御指揮ニ從ヒ之ヲ救助シ若クハ歸國セシムヘキハ勿論官廳ニ於テ之ヲ救助シ若クハ歸國セシメラレタルトキハ其費金ヲ辨償スヘク又拙者ニ於テ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保証人ヲ定ムヘク尙此等ニ關シ官廳ヨリ命令セララルトキハ其命令ニ從ヒ義務ヲ盡シ可申候也

拙者從來渡航者ノ保証人ニ相立テシコト無之又ハ何年何月何日何縣何郡(市)何町村何大字某何國何地へ渡航ノ爲メ保証人ニ相立申候也
年 月 日

原籍住所身分職業

保証人 氏 名印

本 縣 知 事 宛

第四號書式

五十錢
收入印紙

外國旅券領收證

一 外國旅券

第何號

壹枚

但拙者某國へ渡航ノ爲メ御下附ノ分

右正ニ領收候也

年 月 日

本縣知事宛

本籍住所

本人

氏

名印

○和歌山縣告示第九十七號

本月十三日海軍教育大將告示第一號ヲ以テ海軍兵學校生徒百八十名召集ノ儀告示セラレ候
 條同牛津志願者ハ得ニ紙觸セキ志願者ノ願書ハ來ル六月十日限リ兵學校へ到達ヲ要スル
 ニ付其ノ日數ヲ豫定シテハ町村役場并ニ郡役所市ハ市役所ヲ經テ願書ヲ管廳へ差出スヘシ
 明治三十六年三月十八日
 和歌山縣知事 椿 基一郎

○町村長助役、異動

海軍部有功村助役
 圓 節 平 吉
 全 郡津村有給村長
 鈴 木 嘉 一

右明治三十六年三月十八日認可

○觀 測

明治三十六年三月十六日ヨリ三日間當地氣象概況

縣報第百八十六號 明治三十六年三月廿一日 第三種郵便物認可 六

種 類	三月十六日		三月十七日		三月十八日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六四耗五	七五九耗六	七六一耗三	七六三耗六	七六二耗四	七六九耗二
平均氣溫	八度七	一〇度四	一一度二	八度八	一四度五	八度三
最高氣溫	一六度〇	一三度五	一七度〇	一二度四	二〇度五	一二度三
最低氣溫	一度八	七度八	五度四	五度五	八度〇	四度七
最多風向	北東	北	北東	北	北東	北
平均風力	三米〇	五米一	二米九	六米〇	二米三	六米四
天 氣	晴	雨	雨	雨	快晴	晴
雨 雪 量		八耗八	四耗一	二耗〇		
記 事		前夜來ノ 降雨午前 五時二十	午前三時 二十分ニ 降雨斷	前夜來ノ 降雨午前 二時二十		午后一時 ニリ二時 マテ強風

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十國發行)

縣報第百八十七號

明治卅六年三月廿四日 和歌山縣

公文

○和歌山縣告示第九十八號

縣下那賀郡山崎村大字畑毛赤井房太郎領牛一頭本月十六日脫疽ニ罹リ翌十七日斃死セリ

明治三十六年三月十九日

和歌山縣知事 櫻 素一 郎

○和歌山縣告示第九十九號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治三十六年三月廿一日

和歌山縣知事 櫻 素一 郎

海草郡西和佐村大字東稻三百八十三番地

和歌山縣平民

四 村 い さ

天保元年十一月生

○和歌山縣告示第百號

明治三十六年四月入學セリムベキ本縣師範學校甲種補習科生徒若干名欠員ニ付募集ス入學志願者ハ明治三十年一月當縣令第四號和歌山縣師範學校生徒募集規則及明治三十三年一月當縣令第一號和歌山縣師範學校小學校教員講習科規則ニ依リ來四月七日既所轄郡市長ニ願書

縣報第百八十七號

明治三十六年三月廿四日

第三種郵便物認可

一

可圖物便郵種三第日八月五年三十三治明

差出スベシ郡市長ニ於テハ該志願書ヲ取極メ四月十日迄ニ到達ノ豫定ヲ以テ師範學校長ニ送付スベシ

前項入學志願者ハ本年ノ徵兵運輸者ニ非アルモノニ限ル

入學試験ハ左記ノ日時和歌山縣師範學校内ニ於テ施行ス

明治三十六年三月二十一日

和歌山縣知事

櫻 素一 郎

記

四月十三日	休 格	人 物	國 語	國語作文
全十四日	國語講讀	全上習字	歴 史 地 理	修 身
全十五日	算術筆算	全上珠算	國語書取	
	自午前八時至全十時	自午前十時至全十一時	自午前十一時至正午	自午后一時至全二時
	自午前八時至全十時	自午前十一時至正午	自午后一時至全二時	自午后二時至全三時

○和歌山縣告示第百一號

左記符號免狀遺失ノ旨届出

明治三十六年三月二十一日

和歌山縣知事 樽 茶 一 耶

和歌山縣和歌山市西掛屋町二丁目四番地

平民起毛彌

南方 楠 之 助

當三十八年

一乙種三等符號免狀第七十二號

明治三十五年十二月五日下午附

右ハ明治三十六年三月十三日縣下海草郡西和佐村大字田井ノ瀬ヨリ自宅迄ノ間ニ於テ遺失
シ

○觀測

明治三十六年三月十九日ヨリ三日間當地氣象概況

縣報第百八十七號

明治三十六年三月廿四日

第三種郵便物認可

二

種 類	三月十九日		三月二十日		三月廿一日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六三耗五	七六五耗二	七六三耗五	七五六耗三	七六二耗〇	七六二耗五
平均氣溫	一四度九	九度四	一三度八	一三度〇	一一度一	九度六
最高氣溫	二〇度五	一二度四	一九度八	一六度八	一四度三	一二度六
最低氣溫	一〇度一	六度三	八度七	九度〇	七度〇	七度〇
最多風向	北東	北東	北東	南又ハ西	北々東	北
平均風力	三米二	一米一	四米〇	四米三	一米九	五米三
天 氣	晴	雨	晴	雨	雨	曇
雨 雪 量		一耗二		一六耗八		〇耗一
記 事		海上風雨 八時或午 前九時〇	午后五時 二十五分 海上風雨	午前八時 三十分 降雨	午後四時 四十分 降雨	

（毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）

縣報第百八十八號

明治卅六年三月廿七日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第二十八號

駕籠營業取締規則左ノ通り相定ム

明治三十六年三月廿六日

和歌山縣知事 櫻 嘉一 耶

駕籠營業取締規則

第一條 駕籠營業ヲ爲キントスルモノハ住所職業身分氏名年齢及營業ノ種類ヲ記シ所轄警察官署ニ願出テ免許證札ヲ受ケ且ツ其使用セントスル駕籠ニ捺印及番號ヲ受ケ可シ但非具前ハ此限リニアラス

第二條 左ノ各項ニ該當スルモノハ免許證札ヲ與ヘス

一 強盜盜詐欺取財強盜過失ニアラザル殺傷罪及幼者ヲ暴取誘拐スル罪ヲ犯シタルモノ及本則ニヨリ免許ヲ取消シタルモノ但後改ノ情著シキ者ハ物ニ免許證札ヲ與フルコトアル可シ

二 人ノ健忘スベキ病症アルモノ

三 体格又ハ視力不完全ナル者

四 素行不貞ナル者

罰則第百八十八號

明治三十六年三月廿七日

第三種郵便物認可

一

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

第三條 乘載貨額ハ豫メ之ヲ定メテ所轄警察官署ニ届出認可ヲ受ケ可シ其之ヲ更定セントスル時亦同シ

第四條 駕籠面ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ其滅失毀損若シハ亡失シタルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ニ其書換又ハ再發ヲ申請スヘシ

死亡廢業又ハ駕籠ノ廢業觀渡若シハ交換ヲ爲シタルトキハ前項ノ期間内ニ所轄警察官署ニ届出スヘシ死亡廢業ノ場合ニ於テハ届書ニ其駕籠ヲ添付シテ返納スヘシ但死亡ノ場合ニ於テハ相續人其ノ他ノ親族ニ於テ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 駕籠營業者ハ左ノ各項ヲ遵守ス可シ

一 駕籠臺ノ右側ニ所有者ノ住所氏名ヲ明記スルコト

二 毎年一回（一月）所轄警察官署ニ於テ駕籠ノ検査ヲ受ケルコト

三 就業中ノ駕籠ニハ適當ナル敷物敷及ヒ提灯ヲ備ヘ且ツ点燈ノ用意ヲ爲シ置クコト

四 提灯ニハ駕籠ノ番號ヲ明記スルコト

五 營業所及ヒ駕籠内ニハ判明ニ記シタル賃錢表ヲ揭示スルコト

六 就業中ハ駕籠ヲ携帯スルコト

七 警察官又ハ乗客ヨリ駕籠ノ揭示ヲ求メラレタルトキハ速ニ提示スルコト

第六條 駕籠營業者ハ左ノ各號ニ該當スベキ行為ヲ爲スベカラス

一 類被リ其ノ他不依裁ナル所爲ヲ爲スコト

二 客引行為ヲ爲スコト

- 三 客ヲ乗セ替ヘ又ハ五分間以上ノ休息ヲ爲スヲ但シ客ノ承諾ヲ得タルトキハ此限リナラス
- 四 不潔ナル服装ヲ爲スコト
- 五 客ノ指定セザル宿屋飲食店茶店其ノ他ノ場所ニ昇キ入ルコト
- 六 強ク乗駕ヲ動メ其ノ他行人ノ禁忌スヘキ所爲ヲ爲スコト
- 七 正當ノ理由ナクシテ客ノ求メニ應セザルコト
- 八 夜中無燈火ニシテ營業スルコト
- 九 十才以上ノモノ二人以上ヲ乗載スル等其ノ他危險ノ所爲ヲ爲スコト
- 十 八種傳染病又ハ疥癬癩病肺病其ノ他ノ禁忌スヘキ患者又ハ汚穢物其他惡臭ヲ留ムヘキ物品ヲ乗載スルコト
- 十一 名義ノ如何ヲ問ハス定額外ノ請求ヲ爲スコト
- 十二 總テ通行ノ妨害トナルヘキ所爲ヲナスコト
- 第七條 營業組合ヲ設ケタルトキハ其ノ規約ヲ定メ所轄警察官署ヲ經由シテ當廳ヘ差出シ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 本則ニ違背シ又ハ第二條ノ各項ニ該當スヘキ事項生シタルトキハ免許ヲ取消ストルアヘシ

縣報第百八十八號 明治三十六年三月廿七日 第三種郵便物認可 一一

- 第九條 第一條第三條乃至第七條ニ違背シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス
- 第十條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○和歌山縣訓令甲第十一號

郡 役 所

郡書記定員ヲ百十三人ト改メ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス但各郡配置人員ハ左ノ通ト

×

明治三十六年三月二十四日

和歌山縣知事 椿 桑一 郎

郡書記配置表

	海草郡	那賀郡	伊都郡	有田郡	日高郡	西牟婁郡	東牟婁郡	計
書記	二十一人	十七人	十四人	十四人	十六人	十六人	十五人	百十三人

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第八十九號

明治卅六年三月三十日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第二十九號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十六年三月二十七日

一那賀郡池田村大字古和田

和歌山縣知事 椿 素一 耶

東 向井熊之助居宅東小溝限

西 向井次郎右衛門宅西里道限

南 向井熊之助居宅表里道限

北 全人居宅裏里道限

○和歌山縣告示第百二號

縣下那賀郡池田村大字古和田向井畑之助飼牛一頭本月二十五日炭疽ニ罹リ全日斃死セリ

明治三十六年三月二十七日

和歌山縣知事 埜 泰一 郎

○和歌山縣告示第百三號

明治三十四年三月三日本縣告示第百四十三號置種講習會規則本年四月一日ヨリ廢止ス

明治三十六年三月二十八日

和歌山縣知事 埜 泰一 郎

○和歌山縣告示第百四號

明治三十六年二月和歌山縣告示第百六十九號ニ依リ行ヒタル和歌山商業會議所職員選舉ノ當選者左記ノ如キニ定メ

明治三十六年三月二十八日

和歌山縣知事 埜 泰一 郎
和歌山商業會議所職員選舉當選者姓名

岩	萬	助
岡	源	兵衛
中	富	之助
中	富	之助
高	太	郎
高	太	郎
垂	井	清右衛門
志	賀	法立正

縣告示第百八十九號

明治三十六年三月三十日

第三種郵便物認可

二

中	村	市	那	右	衛	門
源	戸	市	次	郎		
玉	屋	重	右	衛	門	
佐	竹	義	之	助		
清	田	牛	之	助		
南	方	市	兵	衛		
廣	田	善	八			
中	谷	長	康			
酒	井	武	兵	衛		
若	橋	中	兵	衛		
六	角	南	太	郎		
馬	橋	主	計			
久	島	修	德			
中	村	義	忠			
三	見	廣	三	郎		
大	野	源	兵	衛		
並	木		弘			

株式肥陽貯蓄銀行

佐竹 槌之助
 雜賀 利兵衛
 山本 大次郎
 林 利兵衛

正誤

本年二月縣令第二十號中工業稅中職工種目等級表一零業酒杜氏ノ下(指物職)ノ三字ヲ脱ス
 明治三十六年三月廿八日 和歌山縣

辭令

明治三十六年三月二十四日
 (各通)
 和歌山縣伊都郡觀學 加納昇太郎
 和歌山縣那賀郡香記 野村 勉
 依願免本官

町村助役ノ異動

東牟婁郡敷屋村助役 宇井宗十郎
 右三十六年三月二十六日認可

縣報第百八十九號 明治三十六年三月三十日 第三種郵便物認可 三

觀測

明治三十六年三月廿五日、廿六日、廿七日間當地氣象概況

種類	三月廿五日		三月廿六日		三月廿七日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗〇	七六七耗三	七六三耗二	七六九耗三	七六二耗一	七六九耗五
平均氣溫	一一度六	八度〇	一〇度三	七度五	一一度二	七度八
最高氣溫	一四度九	一一度七	一四度二	一三度一	一六度〇	一二度七
最低氣溫	九度三	三度三	七度八	一度〇	七度三	二度五
最多風向	北々東	北	北	北	北東	北
平均風力	三米二	五米九	四米六	四米八	三米三	五米五
天氣	晴	晴	晴	晴	晴	晴
雨雪量	七耗五					
記事	午前四時	前日來ノ		朝霜アリ		九時五十

(三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十月發行)

縣報 號 外 明治卅六年三月卅一日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第三十一號

縣稅取縮規則左ノ通定メ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十五年三月縣令第三十三號ハ本令施行ノ日ヲ以テ廢止ス

明治三十六年三月三十日

和歌山縣知事 椿 基一 耶

縣稅取縮規則

第一條 縣稅營業稅雜稅ヲ納ムヘキ義務ノ生シタルモノニシテ左ノ各稅ニ納ムヘキモノ
ヲ除ク外即日其ノ地ノ郡市長ニ届出ヘシ但管外來漁者及住所ヲ管內ニ定メサル筏乘人ハ
便宜ノ地ノ郡市長ニ届出ヘシ

一 演劇稅、興行稅、遊技場稅、海面捕魚稅、海面採鹽稅、所得稅割、狩獵稅、鑛業鑛區稅割
第二條 前條ノ届ニハ業目、種別、住所、年齡及ヒ營業稅、雜稅稅課目課額ニ依ル課稅ノ
標準ニ該當スル事項ヲ記シ圖籍証書ヲ受有セル船舶コアツテハ其ノ証書寫ヲ添付スベシ
但シ年齡ハ男九條ニ依リ靈札ヲ受クルヲ要スルモノ、尙記載ヲ省クヲ得又住宅ト營業場
工業場、所在ヲ異ニスルモノハ其ノ營業場工業場場所所在地番ヲ記載スヘシ

外 明治三十六年三月三十一日 第三種郵便物費可

號 外 明治三十六年三月三十一日 第三種郵便物費可

第三條 營業ノ開始又ハ物件ノ所有及異動ニ係ル届出ハ總テ口頭ヲ以テ届出タルヲ得但シ
口頭届出ヲ爲サントスルモノハ所轄市町村役場ニ就キ事實ヲ申立口頭届簿ニ登録ヲ受ケ
之ニ捺印スヘシ

第四條 船舶ヲ所有スル者ハ定額場ヲ定メ第一條第二條ニ依リ其定額場所所在地ノ郡市長ニ
届出ベシ船体ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五條 馬車荷車人力車ヲ所有スル者コシテ警察署及ハ警察分署ニ於テ車体ノ檢査ヲ受ケ
ルヲ要スルモノハ檢査ヲ受ケタル上即日郡市長ニ届出ヘキモノトス但シ市ニ於テハ届出
ヲ要セス

自用馬車人力車及荷積車ニシテ荷臺坪數八坪未満ノ小車ハ郡市長ニ届出ト全時ニ郡市役
所ニ於テ車体ニ捺印ヲ受クヘシ

第六條 船ノ間數ヲ測定スルハ軸ヨリ艦ニ至ル内部ノ總長ヲ測定シ其間數一間ニ滿タサル
モノハ一間トシ一間以上ハ間數ニ止メ端數ハ切捨トス

第七條 私人建物稅ヲ納ムヘキモノハ届出ニハ左ノ事項ヲ記スヘシ
一 法人ノ名稱及ヒ營業ノ種目

二 建物所在地番

三 土地并建物坪數 家屋、倉庫、製造場、店舗其他付屬建物ノ坪數ヲ
區別シテ記載スヘシ

四 建物賃貸價格

建物賃賃價格ハ國稅營業稅標準ノ價格ヲ記シ國稅ヲ納メサルモノニアリテハ營業戶
 地建物ノ借料ニ相當スルモノヲ以テ建物ノ賃賃價格トシ左ノ各號ニ依リ賃賃價格ヲ算定
 スヘシ但シ住居ニ供スル建物其ノ他直接ニ營業ニ使用セサルモノト雖モ全一區域内ニア
 リテハ法人ノ所有又ハ借入ニ屬スルモノハ總テ算入スヘシ
 一法人ノ借入ニ屬スル建物ハ何等ノ名義ヲ用ユルニ拘ヘテ土地建物ノ賃賃上借主ヨリ賃
 主ニ支拂フモノヲ以テ建物賃賃價格トス
 二法人ノ所有ニ屬スル建物若クハ無償借入ノ建物ニアリテハ近傍借家ノ借料ニ照準シテ建
 物賃賃價格ヲ定ムヘシ但シ近傍ニ照準スヘキ借家ナキトキハ其土地建物ノ時價ヲ各別ニ
 算定シ土地ハ其百分ノ五建物ハ百分ノ十ヲ以テ建物賃賃價格トス
 第八條 左ノ各目ニ該當スルモノハ所轄郡市役所ニ於テ標札ヲ受ケ住宅、店舗、營業場、工
 業場等戶外ノ見易キ位置ニ掲ケヘシ
 一商業、工業(職工ヲ除ク)料理屋、待合茶屋、芝居茶屋、遊船宿、飲食店、湯屋、理髮人、遊藝
 師匠、市場、(臨時ニ開ク)水草
 藝妓置屋ニ於テハ藝妓ノ氏名ヲ記シタル票札ヲ製シ之ヲ前項標札ノ傍ニ掲ケヘシ
 第九條 左ノ各號ノ業ヲ營ム者及物件所有者ハ第一條ノ届出ヲ爲シタル上郡市役所ニ於テ
 標札ヲ受クヘシ但シ營業主ト全居スル家族雇人ヲシテ行商セシムル者ハ營業主ニ於テ標
 札ヲ受クヘシ
 一行商、職工、遊藝家、相撲、行司、俳優、藝妓、酌婦、幫間、乘馬、五十石未満ノ船、自轉車、死

外 明治三十六年三月三十一日 第三種郵便物認可 二

牛馬取扱人、管水來漁、海圖遊漁、取貝、鮎、鰯漁、青野替、役乘
 一工業者(職工ノ外)理髮人、遊藝師匠等ニシテ出稼スルモノ及露店ヲ開ク者
 縣稅賦課規則ニ依リ除稅ニ係ル左記營業者及物件所有者ハ郡市長ニ届出除稅標札又ハ免
 稅烙印ヲ受クヘシ但シ人糞尿及塵芥運搬專用車ハ車蓋左側ニ人糞尿又ハ塵芥運搬專用車ト
 大書スヘシ
 一職工ニシテ廢疾不具ノ者
 一職工役乘ノ徒弟又ハ見習中ノ者
 一遊藝家人ニシテ廢疾又ハ年齡滿十五年末滿六十歲以上ノ者
 一人糞尿及塵芥運搬專用車
 標札ハ各自之ヲ携帶スヘシ但シ乘馬ハ其ノ馬ニ自轉車ハ其ノ車ニ緊付シ小船ハ船ノ内郡
 釘付スヘシ
 第十條 市場(臨時ニ開ク古)ニシテ日稅ヲ納ムヘキモノハ開業前日ニ郡市長ニ届出ヘシ
 但シ開業日數ヲ豫定シ該稅額ヲ一時ニ豫納スルヲ得若シ豫定ノ日數ノ伸縮又ハ課稅標準
 ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々届出ヘシ
 第十一條 屠畜ヲ爲ス者ハ屠殺ノ前日其ノ獸名及頭數ヲ帳簿ニ登記シ市町村長ニ差出シ其
 帳簿ニ捺印ヲ受ケ納稅ノ上所轄警察署又ハ分署ニ屠殺届出ノ際其ノ証ヲ示スヘシ
 第十二條 左ノ各號ニ該當スルモノハ即日郡市長ニ届出ヘシ但シ他郡市ニ營業又ハ物件ヲ
 移轉シタル場合ハ双方ノ郡市長ニ届出ヘシ

一 廢業死亡物件ノ亡失廢毀改氏名
 二 賦稅賦課規則ニ依リ除稅ニ該當スル事由ノ生シタルトキ又ハ消滅シタルトキ及ヒ圖稅管
 業稅法ニ依リ課稅標準ノ届出ヲ爲シタルトキ
 三 課稅標準業目種別ノ異動増減
 四 同一郡市内又ハ他郡市他府縣へ營業又ハ物件ノ移轉
 營業又ハ物件ヲ讓受ケ納稅義務ヲ繼承スル場合ハ双方違背シテ届出ヘシ
 納稅義務ヲ負フモノ死亡シタルトキ其ノ遺族又ハ親戚ヨリ届出ヘシ
 第十三條 前條ニ依リ納稅義務ノ消滅シタルモノ及除稅ノ事由消滅ニ歸シタルモノハ標札
 又ハ標札ヲ返納シ船中ニシテ捺印ヲ受ケアルモノハ其部分ヲ切取リ返納シ又ハ消印ヲ受
 ケ改氏名其ノ他標札標札ノ異動ハ書換テ受クヘシ
 他郡市へ移轉シタルモノハ前ニ受クタル標札標札ハ之ヲ返納シ移轉地ノ郡市役所ニ於テ
 更ニ之ヲ受クヘシ
 第十四條 標札標札ハ賣渡貸渡若ハ讓渡ヲ爲スヲ得ス
 標札標札ヲ亡失毀損シ又ハ捺印ノ不判明トナリタルトキ其ノ事由ヲ届出標札標札ノ再渡
 又ハ再捺印ヲ受クヘシ
 第十五條 職工、理髮人、遊藝稼人、相撲、行司、俳優、幫間、藝妓、酌婦、夜乘及ヒ行商其ノ他
 出稼ヲナスモノハ其ノ市町村内ニ於テ納稅引受人ヲ定メ違背ヲ以テ納稅地ノ市町村長ニ
 届出ヘシ

外 明治三十六年三月三十一日 第三種郵便物認可 三

物件營業場工業場及船舶定額場所所在地ノ市町村内ニ現住セサル者ハ前項ニ依リ其ノ物件
 營業場船舶定額場所所在地ノ市町村内ニ於テ納稅引受人ヲ定メ違背ヲ以テ市町村長ニ届出
 ヘシ納稅引受人死亡若ハ他市町村へ轉居シタルトキハ更ニ納稅引受人ヲ定メ届出ヘシ
 第十六條 府縣制第五百五條ニ依リ納稅義務ノ生シタル者ハ納稅義務發生ノ初ニ遡リ該期間
 ノ稅額ヲ一時ニ納ムヘキモノトス
 第十七條 遊藝師匠、藝妓、酌婦ニシテ下級地ニ於テ標札ヲ受ケタル者一時上級地ニ到リ
 營業シ若ハ下級地上級地ヲ通シテ營業セントスル者ハ上級地ノ標札ヲ受クヘシ
 第十八條 本則ニ依リ郡長ニ差出スヘキ届ハ總テ町村長ヲ經由スヘシ但シ居住地外ニ於テ
 業ヲナスモノ若ハ物件ヲ所有スルモノハ其ノ地ノ市町村長ヲ經由スヘシ
 第十九條 第一條第九條第十條第十一條第十二條第三項第三號ノ届出ヲ爲ス若ハ虛偽ノ届
 出ヲ爲シ又ハ第五條ニヨリ捺印ヲ受ケタルモノ及第九條第十三條第十四條第一項第十七
 條ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ料料ニ處ス
 第二十條 此ノ規則ニ依リ下付スル標札標札及ヒ船車捺印等ハ左ノ様式ニ據ル
 第一標札様式

木 第 號
 營業地何々 郡市町村大字番地 經五寸
 業 目 田 氏 名
 製 明治 年 月 日 横三寸

一住居地ト營業地ト異ナルモノハ氏名ノ冒頭ニ營業地名ヲ記入ス
 一商業中國技藝屋ハ業目ニ屬せ置屋ト表記ス

第二號札様式

木	第 號	何 郡 市 町 村
小册	田 長 何 間	定 額 揚 何 々
札	明 治 年 月 日	何 郡 市 町 村 大 字 番 地 氏 名
		寸 法 前ニ同

紙	何 郡 號	何 郡 市 町 村 大 字 番 地
判 印	縣 稅 何 々 業 鑑 札	氏 名
製	明 治 年 月 日	生 年 月 日
		和 歌 山 縣 郡 市 役 所 印
		横 三 寸 五 分

製 外 明 治 三 十 六 年 三 月 三 十 一 日 第 三 種 郵 便 物 郵 可 四

木	何 郡 號	何 郡 市 町 村 大 字 番 地
表	縣 稅 何 々 業 鑑 札	氏 名
製	明 治 年 月 日	生 年 月 日
		横 二 寸
		何 郡 市 役 所 印

一木製鑑札ハ職工乘馬自轉車海面遊漁管外來漁海面取貝河川鮎漁鰯漁筏乘及行商ニ限リ付
 與シ其他ハ紙製鑑札ヲ付與ス
 一寄留者又ハ管外ノ者ハ原籍地ヲ併記ス
 一居住地ト營業店舖ト異ナルモノ又ハ職技的婦ノ鑑札ニハ氏名ノ冒頭ニ營業地名ヲ記入ス
 一職工ハ業目ノ左傍ニ職名記入シ職技遊藝師匠(出稼スルモノ)遊藝藝人ハ其職名鮎鰯漁ハ
 其河川ヲ記入シ來漁者ハ其ノ地名又ハ寄港地名ヲ鑑札圖氏名ノ冒頭ニ記入ス
 一箱體稅其ノ額目ヲ鑑札圖ニ記載スルモノトス

木	何 郡 市 町 村 大 字 番 地
表	何 々 業 氏 名
製	除 稅 鑑 札 生 年 月 日
	寸 法 前ニ同
	何 郡 市 役 所 印

一 徒弟又ハ見習中ノ者ハ營業者何某ノ徒弟又ハ見習ト配スヘシ

一 遊藝稼人コシテ十五歳未満ノモノハ其裏面ニ有効期限ヲ記入スヘシ

第三捺印様式

和歌山縣捺印

縦二寸二分
横一寸

免 税

縦二寸二分
横一寸三分

消

縦一寸六分
横一寸一分

一 捺印ハ總テ烙印トシ車輪ハ車蓋ノ右側ニ烙印シ自用人力車ハ脱込ノ前面ニ烙印ス
第四齒枝票札様式

木 札

齒 枝

氏 名
又ハ齒名

縦凡五寸横巾適宜

一 二名以上ヲ寄寓セシムル者ハ氏名又ハ齒名ヲ連記スルヲ得

